

吉川市シティプロモーション戦略プラン

目次

I. 序論	1
1. 策定の趣旨	1
2. 吉川市の特色	2
(1) 住みよさ	2
(2) ほどよい田舎感と生活の便の良さ	3
(3) なまず	3
3. シティプロモーションとしての課題	4
(1) 地域に対する誇り、愛着心の向上	4
(2) 共に魅力を発信、認知度の向上	4
II. 戦略プラン	5
1. 愛着心の向上	5
(1) 戦略的な情報発信	5
① よしかわの魅力実感	5
(2) 資源・魅力の発見・創出	11
① 水と緑豊かなまち	11
② 地域産業の躍動	13
③ 歴史・文化の啓発の推進	15
(3) 協働事業	17
① 共生のまちづくり	17
(4) イベント	26
① なまずの里よしかわ	26
② 地域産業の躍動	28
③ よしかわの魅力実感(生活)	29
④ よしかわの魅力実感(こども・学び)	34
⑤ よしかわの魅力実感(健康・福祉)	43
2. 認知度の向上	49
(1) 戦略的な情報発信	49
① なまずの里よしかわ	49
② よしかわの魅力発信	51
(2) イベント	55
① なまずの里よしかわ	55
② よしかわの魅力発信	57
3. 取組の推進	61
全体指標・基本指標・重要業績評価指標(KPI)について	62
用語解説	64

I. 序論

1. 策定の趣旨

吉川市では、平成29年に、シティプロモーションに取り組むに当たっての基本的な方向性を定めようとする「吉川市シティプロモーション基本方針(以下「基本方針」という。)」を策定し、令和3年には、「吉川市シティプロモーション戦略プラン(以下「戦略プラン」という。)(第1版)」を策定しました。

今回、市政運営の最上位計画である「第6次吉川市総合振興計画」及び「第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に合わせ、基本方針が改定されたことを踏まえ、この方針の枠組に基づき、今後の吉川市のシティプロモーションの取組について、具体的な活動の方向性を定める戦略プランを改定し、実効性を高めようとするものです。

市の将来像、まちづくりの基本的な方向、そのために取り組む施策等を定める市の最上位計画

東京への人口集中の改善と、地方を活性化し持続していくことを目的とした戦略

第6次吉川市総合振興計画（前期基本計画）

まちづくりの基本理念

- (1)幸福実感を高める
- (2)共に生き、共に創る
- (3)誇れるまちを未来へ

第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)
⇒第9節「シティプロモーションの推進」

第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

全体目標 みんなの幸福実感を追求する

- 基本目標1 子どもの笑顔と活気でまちを満たす
- 基本目標2 豊かで住みよいまちをつくる
- 基本目標3 つながりで活力と魅力を創出する
⇒施策3「世界に伝える！吉川の魅力PRプラン」

吉川市シティプロモーション基本方針

目標 市民の幸福実感の向上

～ 市民と共に、「住み続けたいまち」、「住んでみたいまち」、「訪れたいまち」、「応援したいまち」を目指して ～

吉川市シティプロモーション戦略プラン

合言葉 『住みよさ』よし、よしかわ』

市民と共に以下の重点テーマに取り組みます

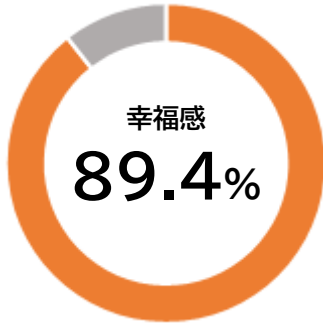
愛着心の向上

- ・資源・魅力の創出
- ・協働事業
- ・戦略的な情報発信
- ・イベント など

認知度の向上

- ・戦略的な情報発信
- ・イベント
- ・広告
- ・マスコミ露出 など

2. 吉川市の特色



吉川市は、埼玉県の南東部に位置し、古くから稲作が盛んで中川の舟運の拠点としても栄えました。

昭和30年に旧吉川町・旭村・三輪野江村が合併して新吉川町となり、その後、武蔵野線開通や吉川団地の建設などにより年々人口が増加し、平成8年に埼玉県内で43番目に誕生した市です。

令和4年度に実施した市民意識調査では、89.4%の市民が「幸福／どちらかと言えば幸福」と回答しており、『住みよさ』をはじめとした次のような特色が挙げられます。

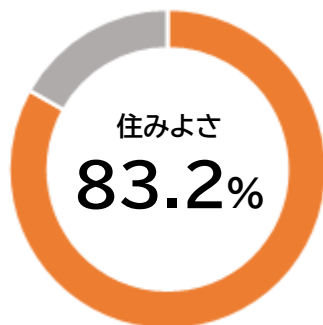


明治10年 徳江橋眺望 (『埼玉県地誌略』)



昭和48年 武蔵野線開通・吉川駅開業式

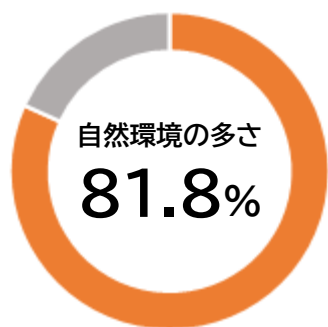
(1) 住みよさ



令和4年度の市民意識調査では、83.2%の市民が「住みよい／どちらかと言えば住みよい」と回答しており、住みよいと感じる理由について最も多かったものは「自然環境の多さ」が81.8%、次いで「街並み(景観)」が76.0%、3番目に「治安」が74.4%となっています。また、定住意向については、74.4%の市民が「住み続けたい／どちらかと言えば住み続けたい」と回答しています。



(2) ほどよい田舎感と生活の便の良さ



吉川市の住み心地や愛着心に関する自由記述では、「自然」「田園風景」「緑」「静か」「都市部と田舎風景の調和」などのキーワードが多く、吉川市について「ほどよい田舎感」のイメージがあると感じられます。

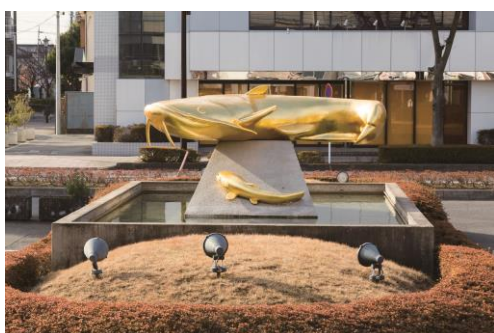
また、吉川市内を通過するJR武蔵野線は、東京都心から放射状に延びる鉄道との接続駅が多い便利な路線です。吉川市は、吉川駅に加え、吉川美南駅周辺の開発が行われるなど、暮らしの利便性と閑静な佇まいを併せ持つベッドタウンとして注目され、また、近隣に大規模ショッピング施設が充実していることも魅力の一つです。



(3) なまず

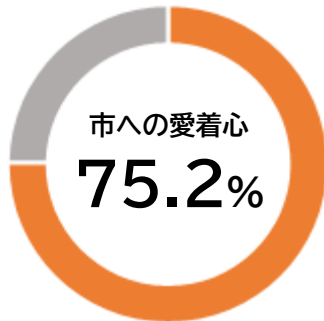
吉川市は、江戸川・中川に挟まれた地形であったことから、舟運により江戸に物資を運ぶ集積地として、河岸場には料亭が多く、古くから川魚料理の食文化が根付く中、「なまず」は、かつて市内の用水路などで日常に見ることができ、貴重なタンパク源として多くの家庭で親しまれていました。

その後、都市化が進んだ昭和40年代からその姿を消していきましたが、平成に入る頃から、古くから親しまれてきたなまずを市のシンボルにしてまちづくりを進めて行こうという気運が高まりました。吉川駅前の「金色のなまずモニュメント」の設置や市内でのなまずの養殖に成功し、市イメージキャラクター「なまりん」もデビューしました。さらに、平成29年には、なまずを活用したまちおこしを行っている自治体が集まった「全国なまずサミット」が開催され、7月2日を「なまずの日」として制定しました。また、市民意識調査における他市に自慢できる事柄の自由記載でも、「なまず」や「なまず料理」を挙げる人が多く見られます。



3. シティプロモーションとしての課題

(1) 地域に対する誇り、愛着心の向上

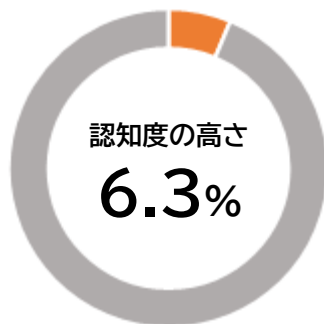


「街の幸福度&住み続けたいまちランキング2022<埼玉県版>」(大東建託)では、幸福度は県内7位、また市民意識調査における吉川市への愛着度に関する設問では、75.2%が「愛着がある・どちらかと言えば愛着がある」と回答しています。

一方で、吉川市において全国的に注目される観光的な資源や大規模商業施設など、他の自治体との比較の中で突出したものが無い状況です。

そうした中で、幸福度や愛着心が高市町村よりも高い値を示しているのは、「住みよさ」、「生活の便の良さ」、「なまず」といった吉川市の特色に由縁があることが考えられます。吉川市が今後も発展を続けていくためには、こうした特色にアプローチする取組を展開し、市民の皆さんにより深い愛着を持ってもらえるかが課題となります。

(2) 共に魅力を発信、認知度の向上

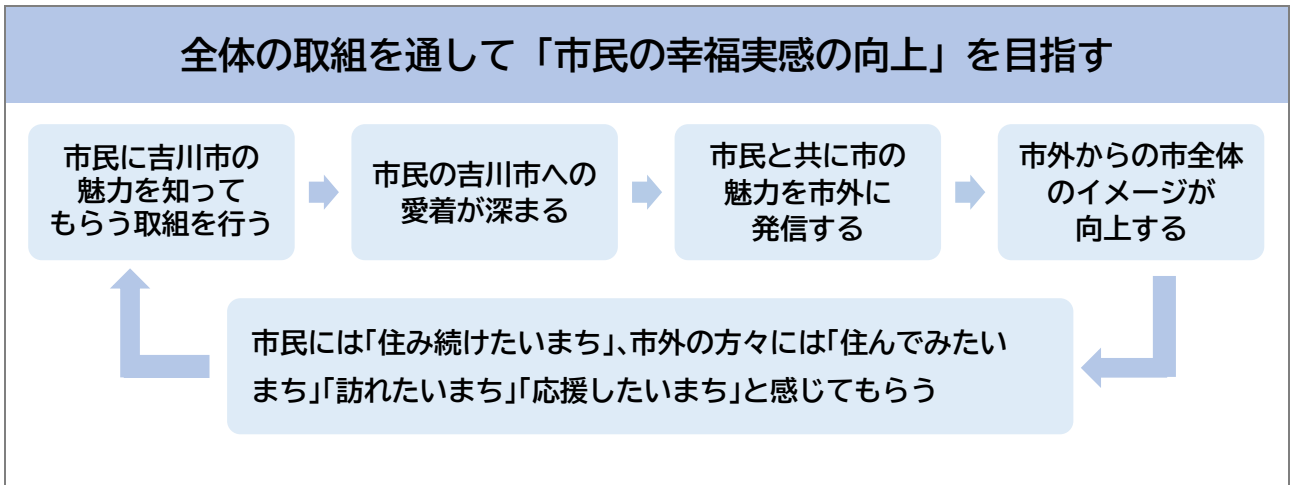


「地域ブランド調査2019」(ブランド総合研究所)では、「吉川市」の認知度は調査対象の1,000市区町村のうち814位となっており、全国的に見ても低い状況です。また、市民意識調査で、「認知度が高い/どちらかと言えば認知度が高い」と回答した人は6.3%となっています。

まちの認知度の高さは、まちに対する誇りや愛着心も影響を与えます。そうした中で、『住みよさ』を中心とした市の特色は、市からの発信だけで認知度を向上させていくことは困難です。

市民、市に関わる団体や企業などが『住みよさ』を実感し、得られる幸福実感の大きさや市への愛着心が向上することで、地域に関わろうとする意欲が高まり、まちの担い手が増えること、そして吉川市に関わる様々な方にも、自ら進んで市の魅力を発信してもらえる状況を創れるかが課題となります。

II. 戦略プラン




市民と共に、
『『住みよさ』よし、よしかわ』 を合言葉に、
 シティプロモーションを推進します。

1. 愛着心の向上

(1) 戦略的な情報発信

① よしかわの魅力実感

市勢要覧	
ねらい・効果	市の魅力を広く発信し、市勢要覧を見た人が、市の魅力に気付き、愛着を持ち、そして思わず誰かに話したくなったり、出かけてみたくなるような行動につなげる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市の経済や産業、財政、人口などの情報に加え、自然、歴史、文化等を、写真やイラスト・グラフを用いた効果的なデザインと簡潔な文章で紹介する冊子。 実績：【令和3年度】マンガ版市勢要覧「金色(こんじき)のなまず-マンガで見る吉川市-」 ◎市制施行30年(令和8年)にあわせた作成を検討。市内はもとより市外に向けても市の魅力を発信していく。 
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

ホームページ・SNS・広報よしかわ	
ねらい・効果	社会背景やニーズにあわせ、電子・紙媒体、プル型・プッシュ型などのさまざまなメディアを駆使し、必要な情報が必要な時に手に入る、そして見やすく分かりやすい情報発信を行い、市を知り愛着を持ってもらえるようにする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ 市の制度やサービスのご紹介、イベント情報をはじめ、市の魅力などについてプル型での情報発信を行う。 ・ SNS (YouTube・X[旧 Twitter]) YouTube では、市政情報や市の魅力についてショートムービーで情報を伝える。また、X(旧 Twitter)では、イベント情報や旬な情報を中心に発信。 ・ 広報よしかわ 毎月1日に発行。月ごとに市からのお知らせを掲載。またタイムリーな内容について特集を組み、読み物感覚で行政情報を楽しく手に入れられるようにするなど工夫している。 <p>◎使用メディアについては、社会背景やニーズにあわせ適宜検討していく。</p>
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112



ラジオ番組「金のなまず」	
ねらい・効果	市の様々な魅力を市民が自ら取材し、その取材した内容をもとに制作した番組をラジオで放送し多くの人に聴いてもらうことで、市民にまちづくりに参加してもらい、かつ多くの人に吉川市を知り、愛着を持ってもらう機会にする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年10月から放送開始。公募により選ばれた市民パーソナリティが、テーマ選びから放送までを担当してくれます。まさに市民目線による市民のためのラジオ！ ➢ 放送日時：毎週金曜日のお昼12時30分から40分（10分間） ➢ 周波数：エフエム86.8メガヘルツ（こしがやエフエム）
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112




市の魅力発信に向けた合言葉の活用とロゴマークづくり	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市の魅力である『住みよさ』を追求し、ブランドイメージづくり・発信をすることで、市民の吉川市への愛着心の向上と市内だけではなく市外の方々からの認知度の向上がねらい。 市民と行政が一体となったプロモーションを展開することで市民の「幸福実感の向上」を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市の魅力である“住みやすさ”をキーワードに、基本方針の中で定めた合言葉「『住みよさ』よし、よしかわ」を活用するため、戦略プラン内の取組の広告物に「『住みよさ』よし、よしかわ」という合言葉を盛り込むようにし、市の魅力について目にする機会を増やし、市民への浸透を図る。 市制施行30周年（令和8年度）に向け、令和7年度に市民等と協働する形でロゴマークのデザインを作成する。 <p>◎庁内連絡会議において進捗状況や効果などの検証を進める。</p>
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112



子育て応援ガイドブック	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て応援ガイドブック」は身近・便利・快適をモットーに、お子さんを授かった方、これから吉川市で子育てされる方を応援するさまざまな情報をまとめたもの。 子育てには、期待いっぱいの反面、不安もいっぱい。そうした不安を払拭し、笑顔いっぱいの子育ての一助となることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 出産・子育てに関連する各種施策や相談窓口、親子でのお出かけにおすすめの情報などをさまざまに盛り込みんでいることが特徴。 公園の位置を確認できる子育てマップも掲載されているほか、内容ごとに大きく見出しが付けられていたり、各項目が色分けされていたりと検索性が高く、バッグにも入るサイズだから外出先でも気軽に調べられる優れもの。 <p>◎令和5年度に情報の更新を予定している。</p>
問合せ	子育て支援課 子育て支援係 ☎982・9529





市内事業者・製造業者に関する情報の発信	
ねらい・効果	特産品やなまazu料理を通じた市内事業者、製造業者を紹介することで吉川の魅力を発信しながら、市内産業に関心を持ってもらい市への愛着を深めてもらうことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業ガイド 市内の製造業を市内外の多くの方に広く知ってもらうことによるさらなる製造業の発展を目的として、作成した市内の32社の情報を掲載した冊子。 新型コロナ対策事例紹介 「新型コロナウイルス感染症対応事業支援補助金」を活用して、歩みを止めずに未来を見つめて様々な対策やチャレンジをしてコロナ禍を乗り越えている17の企業取材し、それぞれの事例をまとめた冊子。 吉川大吉ブランド 「吉川の手土産にしたくなる逸品」をコンセプトに市の優れた産品、吉川らしい逸品を掲載した冊子。 なまazuグルメガイド 吉川市の郷土料理として古くから親しまれてきた「なまazu」を取扱う店舗を紹介。 ふるさと納税 市内事業者の優れた特産品制度を活用し全国に発信 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> <p>◎令和5年度に吉川大吉ブランドの選定を行う。</p>
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697

よしかわ観光協会 Instagram	
ねらい・効果	市の魅力を写真・動画を使って発信し、市民の愛着心の向上や、認知度の向上につなげることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベント、市内店舗、特産品、話題、開花状況等を写真、ショートムービーで発信する。 <p>Instagram フォロワー数：1, 435（令和5年3月31日時点）</p>
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697

なまずグルメ	
ねらい・効果	なまず料理についてグルメガイドを刊行し、市内への訪問者や市民になまずグルメ知ってもらう。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> なまず料理 なまずグルメガイド刊行し、なまず料理を食べることができる店舗の情報を発信する。 なまず料理は、吉川の郷土料理として古くから親しまれ、ビタミンEが豊富で、高たんぱく、低カロリーのヘルシーな食材であり、淡泊で上品な味わいから様々な調味料との相性が抜群。 なまずのたたき揚げ なまずは鮫鱈と同様に捨てるところがなく、骨、頭、肝などを包丁で叩き、味噌などで味付けし、丸めて油で揚げる料理が、吉川を代表する郷土料理「なまずのたたき揚げ」。お店で味や形が異なることも特色。 
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697

キャラクター（なまりん・吉川ねぎ夫）	
ねらい・効果	吉川市の特産品等をPRするため、キャラクターを通じて子どもから大人まで幅広い世代の方々に市への愛着を持ってもらい、市外へのPRにつなげることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> なまりん 平成22年に誕生、吉川市の特産品「なまず」をモチーフにした女の子。おしゃれに敏感なお年頃で、チャームポイントはぱっくりとしたたらこくちびるが特徴。吉川産野菜が好物で、とくに吉川ネギが大好き！！市や自治会等の様々なイベントに登場し、イベント盛り上げの一役を担っている。さらに特産品のパッケージにデザインされたり、ポロシャツや年賀状、ポチ袋、なまず鉛筆などのグッズも作成されているほか、メディアに取り上げられ、懸命に市のPRを行っている。 吉川ねぎ夫 吉川市を代表する農産物である「ねぎ」のPRを行う市の任期付職員。「全国ねぎサミット」や「吉川フェア」などに突如現れる（あまり予告されない）。  
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697、農政課 農政係 ☎982・9482

市教育委員会 X(旧 Twitter)	
ねらい・効果	吉川市における学校教育、生涯教育、家庭・地域教育、文化芸術等の情報を発信することにより、吉川市の教育活動に関する理解を深めてもらうことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> X(旧 Twitter) 市の教育活動全般に関する情報を発信します。当アカウントは情報発信を目的としており、リプライやダイレクトメッセージへの回答は行っていません。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>あります 公式ツイッター</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>教育委員会</p>  </div> </div> <p>X(旧 Twitter)フォロワー数 418 (令和5年9月30日現在)</p>
問合せ	教育委員会 ☎984・3565


(2)資源・魅力の発見・創出

①水と緑豊かなまち

自然観察会	
ねらい・効果	市内に生息する様々な生き物の観察を通じ、自然豊かな郷土への愛着を育むとともに、生物多様性に対する理解醸成を図ることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回（春・秋）に自然観察会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 内容：市役所集合→観察会（春：中央緑地 秋：ウェットランド）→市役所会議室で振り返り→アンケート記入・啓発品配布 ➢ 講師：埼玉県生態系保護協会吉川支部長など ・ 実績：【令和4年度】（春）6人 （秋）悪天候で中止 なお、令和4年度は特別編として「大沢雄一・元埼玉県居宅跡地」を含む市内の森をめぐるツアーを実施した。（参加者：22人）
問合せ	環境課 環境保全係 ☎982・9698

農業パークの整備	
ねらい・効果	近年、「食と農」に対する関心が高まる中、当市においては、都心から25km圏内という距離にありながら、緑豊かな自然が残されており、特に田園風景が魅力的である。一方、その農地を守る担い手となる農業者は高齢化が進み、後継者も不足していることから、今後、農地の保全や活用は重要な課題の一つとなっている。これらの課題に取り組むため、次世代の視点を取り入れた持続可能な産業としての独自の都市近郊農業を確立し、交流人口の拡大や障がい者等の雇用機会の創出、担い手の育成を図っていくための「農業拠点施設」整備を行う。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉川市農業パーク基本構想に基づき、農業拠点施設の整備検討を進める。
問合せ	農政課 農政係 ☎982・9482

公園再生プロジェクト	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 吉川第一土地区画整理地内の公園を中心に老朽化した遊具等の修繕を行う 安心・安全に利用できる公園の整備に努め、公園利用の満足度をより高めることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> 関公園：園路水たまり解消修繕を実施 保第3公園：防災用マンホールトイレの防災設備整備 沼辺公園：ザイルクライミング、木製複合遊具の修繕 中曽根公園、第一土地区画整理地内公園のベンチ更新工事など ◎今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> 関公園：A S E施設の改修と施設を利用した活動 各公園へのインクルーシブ遊具等の導入 アクアパーク：リニューアル工事等
問合せ	道路公園課 公園緑地担当 ☎982・9901

大沢元知事邸跡地の利活用	
ねらい・効果	吉川市の三輪野江出身で、昭和24年に埼玉県知事になった大沢雄一氏。その居宅跡地の整備を行い、自然を身近に感じられる憩いの場、自然とふれあえる環境教育の場として活用し、愛着心の向上を図ることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 実績： <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の下草刈り 敷地北側の雑木撤去 土地所有者による家屋の解体撤去を実施 ◎土地所有者との協議等を踏まえ、敷地内のゾーニングとゾーンごとの整備計画を策定予定。 
問合せ	道路公園課 公園緑地担当 ☎982・9901

②地域産業の躍動

市内飲食店等における地場産品の利用を進める	
ねらい・効果	<p>吉川産農産物のPRや地産地消を進め、以下のようなメリットを生み出すことがねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新鮮で栄養価の高い食品が手に入る ➢ 生産者との距離が近くお互いの「顔」が見える ➢ 地域経済の活性化につながる ➢ 地域の食文化を後世に伝えやすくなる ➢ 環境への負荷を低減できる
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 「吉川産農産物利用推進PR看板」を作成し、吉川産農産物を使用している市内飲食店などに掲げる。 • 実績：【令和2年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 農業者と飲食店事業者の連携により、市内農産物の食材としての利用や店内に販売ブースの設置の支援。 <p>◎令和5年度に吉川市の特産品である「夏ねぎ」を広くPRしていくため、「ねぎマイバック」を開発・販売する。</p>
問合せ	農政課 農政係 ☎982・9482

地域ブランドを用いた活性化	
ねらい・効果	吉川大吉ブランドを通じた市内事業者の紹介や市の知名度の向上、地域の活性化に繋げていくことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 吉川大吉ブランド 平成30年度に立ち上げた吉川市認定ブランド。市制施行20周年のキャッチフレーズ「澄みまち育まち大好き吉川」の大好きの「大」と吉川の「吉」をとり、非常にめでたいことを意味する「大吉」とかけて命名。次の3点が認定の条件。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 吉川らしさを表示 ➢ 市内で生産された農産物を使用 ➢ 吉川で採れた、生産されたものを原材料として使用 • 実績：【令和3年度～令和5年度】30品目を認定。 <p>◎令和5年度に吉川大吉ブランドの選定を行う。</p> <p>吉川大吉ブランド認定品数 29品（令和5年3月31日現在）</p>
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697

産業拠点づくり（三輪野江南部工業団地開発）	
ねらい・効果	市内への企業立地や市内企業の事業拡張などの需要に対応した工業用地を確保し、さらなる産業の振興と雇用の創出、地域の活性化を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な交通利便性を活かした、新たな工業団地を整備する。 ・ 地権者や地域の方々との情報共有を図り、ご理解をいただきながら、事業化に向け、関係機関との調整を進める。
問合せ	都市計画課 都市計画担当 ☎982・9903

学校給食を通じた農産物の地産地消の推進	
ねらい・効果	児童生徒が地域の自然や農業などへの理解を深めることで、安全な食品を選択する力や生産等に関わる人への感謝、また愛着心の向上がねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食だよりや給食通信（放送用資料）の発行、行事食等の実施。 ・ 献立における地場産野菜等の利用促進。（地場産野菜使用率の向上） ・ 給食の試食会を実施し意見交換を行うなど、地域生産者との連携強化。 ・ 地域生産者と協力し、給食献立の新たなメニュー開発を実施。 ・ 児童生徒を対象に種まきや収穫体験の機会を提供する。 ・ 地域生産者紹介動画を作成。 ・ X(旧 Twitter)の活用。（食育や献立紹介、給食センターの取組を発信） <p>◎地域生産者と連携し、引き続き地場産野菜の使用率を向上させる。 また、児童生徒が実際に体験できる食育活動の充実を図る。</p>
問合せ	教育総務課 学校給食センター ☎940・0790

③歴史・文化の啓発の推進

文化財愛護活動	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市の歴史や市内各地域での歴史・文化・伝承に触れるため、郷土の歴史や文化財に関する講座、見学会及び企画展を開催し、市民の愛着心や郷土愛を育むことがねらい。 市外の方に対しても地域の歴史や魅力を伝える。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「市内文化財めぐり」の開催（令和4年11月） 「吉川市の文化財展」の開催（令和5年1月） 吉川市郷土資料館の開館、所蔵史料の公開、市の歴史や文化、祭りの紹介 その他事業の開催 <p>◎市制施行30年（令和8年）にあわせた「文化財・市史」記念誌の作成・発行を検討。市内はもとより市外に向けても市の魅力を発信していく。</p>
問合せ	生涯学習課 文化財保護担当 ☎984・3563




文化芸術に触れ合う機会の創出	
ねらい・効果	文化芸術は創造力と感性を育み、心のつながりや相互理解、多様性を受け入れることができる心豊かな社会の形成につながるものであることから、そうした文化芸術に触れ合う機会を創出することで市民の幸福実感の高めることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市展の開催 これまで吉川市には見られなかった芸術作品の発表の機会の創出 中央公民館に限らず市庁舎や市民交流センターおあしすでの文化芸術に関する企画、民間事業者と連携しての実施 演劇プロジェクト、生音コンサートの実施 世代や地域等を超えて市民が触れられる多様な文化芸術事業の実施 <p>◎継続的な事業の実施に取り組み、市民意識調査のうち「文化芸術の取組に対する市民満足度」の「満足・どちらかといえば満足」の割合達成60.0%以上を目指す。</p>
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563

身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる環境の整備	
ねらい・効果	市民が身近な場所でスポーツに取り組み、心身ともに明るく健康で生きがいのある生活を送ることで、幸福実感の向上につなげることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供することを目指し、市有地をはじめ様々な資源を活用して整備を進めている。 環境センター北側調整池をグラウンドとして運用を開始したことを皮切りに、現在は東埼玉資源環境組合第二最終処分場や吉川美南駅東口1号調整池へのグラウンド整備、屋外市民プール跡地のスポーツ施設として利活用の検討などを進めている。 <p>◎引き続き整備を進め、効果的かつ効率的な運用もあわせて検討していく。</p>
問合せ	スポーツ推進課 スポーツ推進係 ☎982・6800

新たな文化芸術関連施設の整備	
ねらい・効果	美南駅前という立地を活かし市内外から訪れたいくなるような、特色のある「市民の文化芸術活動の場」、「文化芸術に触れ合える場」などを創出し、市民の愛着心の向上や市外の方の認知度の向上を図ることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 美南駅前という立地を活かした文化芸術活動の拠点となる新たな施設の整備を検討する。 <p>◎「市民が集い、つながる。文化芸術と賑わいを感じる交流空間」を基本コンセプトとした「吉川美南駅前公共施設基本計画」に基づき、整備の検討を進める。</p>
問合せ	政策室 企画担当 ☎982・9445


(3)協働事業


①共生のまちづくり

SDGsの推進	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市SDGs推進方針に基づき、下記3つの方向性によりSDGsを推進し、市への愛着心の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 知る SDGsの各ゴールの相互関連性、統合的視点や業務横断的視点、多様なステークホルダーとの連携の重要性など、SDGsの趣旨を正しく理解する。 ➤ 広げる 市民や事業者、団体等へSDGsを広く普及させる。 SDGsという共通目標を通じて、市政への関心を高める。 ➤ 動く 日々の生活においてもSDGsを意識した行動をとる。 統合的かつ業務横断的な視点により、他の施策とのトレードオフや相乗効果を踏まえた事業展開を図る。 バックキャストの発想で、未来のあるべき姿を見据えた取組みを創造する。 市民や事業者、団体等の多様なステークホルダーと連携する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの理解を深める職員研修の実施 包括連携協定事業とのSDGs啓発イベントの実施 SDGsすごろくの作成 各種計画等へのSDGsの反映 市民向けSDGs出前講座の実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
問合せ	政策室 企画担当 ☎982・9445

若者会議の開催	
ねらい・効果	若者の市政への関心を高め、市政に若者の意見を反映することにより、愛着心の向上を図ることがねらい
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 会議を開催し、若者と意見交換を行う。 • 参加条件：16歳以上30歳未満の市内在住又は市内在勤者 • 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市で行う若者支援の取組に関すること。 ➢ 吉川美南駅前文化芸術関連施設を中心とする公共施設整備に関すること。
問合せ	政策室 企画担当 ☎982・9445

福祉の拠点の整備	
ねらい・効果	旧庁舎跡地について「地域コミュニティを支える福祉的な機能拠点が必要」、「民間の活用を検討」という庁内検討委員会の報告を踏まえ、福祉の拠点を整備する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 令和5年5月に策定した「吉川市庁舎跡地福祉の拠点整備基本構想」における「ふれあい・つながる福祉の拠点」という施設コンセプトに基づき施設整備を進める。
問合せ	財政課 管財担当 ☎982・5966


要援護者見守りネットワークの推進	
ねらい・効果	<p>核家族化が進むなど、社会環境の変化により、ひとり暮らしの高齢者が増えるとともに、地域とのつながりが希薄な方が増えている。</p> <p>「要援護者見守りネットワーク」とは、高齢者や障がい者など、援護を必要とする方々が住み慣れた地域で安心して日常生活が営めるように、普段からチョット気にかけることで、高齢者など要援護者の異常に気づき、事故や事件、消費者被害に巻き込まれることのないよう、地域での緩やかな見守りを行う。必要に応じて、市と事業所、関係機関が情報を共有して問題解決を目指すもの。</p> 
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 関係課と関係機関の連携を図る事業調整会議を実施 市と協定事業所や協定事業所間の連携を図るための連絡会の開催 見守り声かけ実践講座の実施 <p>要援護者見守りネットワーク協定事業所数 140事業所 (令和5年3月31日現在)</p>
問合せ	地域福祉課 地域福祉係 ☎982・9548

あいサポート	
ねらい・効果	障がいのある方が困っていること、必要な配慮を理解し、誰もが暮らしやすい社会を構築する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある方が暮らしやすい地域社会を市民と一緒につくっていく運動で、松伏町と共同で令和2年5月に鳥取県と協定を結び、事業を開始した。 あいサポート運動を実施する人（あいサポーター）を育成する研修会の開催と併せて、講師の育成を目的とするメッセンジャー研修も開催している。 【実績】：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ あいサポーター研修：計6回 54人参加 ➢ メッセンジャー研修：計2回 8人参加 <p>◎他機関や他部署との一層の連携強化を含めた支援体制の充実を図るとともに、出前講座を活用した出張研修を働きかけていく。</p> <p>あいサポーター養成人数（累計）474人（令和5年3月31日現在）</p> 
問合せ	障がい福祉課 障がい支援係 ☎982・5238

妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援	
ねらい・効果	すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるようにする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠、出産、子育て期において、継続的に相談対応。 ・ 出産後は、生後4か月までのすべての乳児家庭への訪問を行い、乳児の安全や発育状況を確認。 ・ 産前・産後ヘルプサービス、産後ケア、ホームスタート、一時預かりなどによって、各世帯のニーズに応じた支援を実施。 ・ 専門的な相談や訪問、健診などにより子どもや家庭に関する支援の機能強化。 <p>◎子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの連携強化を引き続き図り、妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援の充実を図る。</p>
問合せ	子育て支援課 子育て支援係 ☎982・9529 健康増進課 健康づくり支援係 ☎982・9804

介護支援ボランティア	
ねらい・効果	高齢者が自身の強みを活かす場を提供し、地域貢献につなげてもらう。人とのつながりを楽しむことや自身の介護予防につなげることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険施設やイベントなどで、ボランティア活動（手伝い、参加者との対話など）を行ってもらう。 ・ 活動終了後には介護支援ボランティア手帳にスタンプが押印される。（1時間程度の活動で1スタンプ、1日2スタンプが上限） ・ 活動した翌年度には、1年分の集めたスタンプを評価ポイントに変換し、交付金の請求ができる。 （上限額5,000円） <p>◎対象施設の検討し、様々な分野でボランティア活動ができるよう環境を整える。 また市ホームページで積極的に情報発信を行う。</p>
問合せ	長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118



生活支援体制の整備	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 住民同士の支え合いの仕組みづくりなどについて住民が話し合い、その支援を生活支援コーディネーターが行う。 高齢化が進む中、何らかの支援や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域づくりを目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置 地域に出向き、住民の皆さんと会話しながら、「地域にあったらいいな」の実現に向けて支援を行う。 地域のことを話し合う場 住民主体で話し合える場が広がっている。中曽根小学校区では自治会を超えて、そこに住むみんなが楽しめる地域づくりにチャレンジしている。 <p>◎生活支援コーディネーターと共に、地域にあるお宝（地域の支え合い）を発掘していく。</p> 
問合せ	長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118

パートナーシップ宣誓制度	
ねらい・効果	性自認や性的指向に係る性的少数者の困難や生きづらさが軽減されるとともに、パートナーシップの関係が社会的に理解、尊重されていくことを期待する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> お互いを人生のパートナーとして相互に協力し合う関係であることを宣誓した性的少数者等のカップルに対して、市がその意思を尊重して宣誓証明書類を交付する。
問合せ	市民参加推進課 人権・相談担当 ☎982・9458

DV防止地域サポーター	
ねらい・効果	DVに関する知識を深め、地域におけるDV防止につながる情報発信ができる人材を増やすことで、配偶者等に対する暴力のない地域づくりを目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「DV防止地域サポーター養成講座」を実施し、受講された方をサポーターとして登録する。 サポーターに、DV防止につながる情報の発信や、市が実施する地域のDV防止に関する事業への協力を依頼するなど、地域におけるDV防止啓発や相談窓口の周知を図る。
問合せ	市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当 ☎982・9458

国際交流・国内交流	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「交際友好協会」への支援を通し、市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、異文化の相互理解と友好を深めるとともに親善を図り、社会の平和を図ることがねらい。 「吉川・室根交流協会」へ支援を通し、友好提携市である岩手県一関市室根町との交流を推進し、相互理解と友好を深めるとともに親善を図り、相互の繁栄を図ることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 【国際友好協会】 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本語教室 ボランティアによる日本語教室を開催しており、生活に必要な日本語の学習を支援する。 ➤ 青少年訪問団派遣事業（市の委託事業） 市内在住中学生を対象に、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州レイクオスエゴ市へ児童や生徒を派遣し、現地中学校の授業の体験や市役所などの訪問を行う。 青少年親善訪問団派遣事業参加者数 平成27年：16人、平成28年：18人、平成29年：20人、平成30年：17人、令和元年～4年：新型コロナウイルスの影響で事業中止、 R5 新型コロナウイルスの影響、渡航費用の高騰のため事業中止 【吉川・室根交流協会】 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 市民まつりにおける室根の特産品販売 国内交流事業の交流人数 平成30年：312人、令和元年：231人、 R2及び令和4年 新型コロナウイルスの影響により事業中止、 令和3年：7人（一部事業開催） <p>◎新たな都市との交流の可能性について研究する。</p>
問合せ	市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当 ☎982・9458

日本語学習の支援	
ねらい・効果	外国人住民を含むすべての人が暮らしやすい多文化共生社会を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室ボランティアスタッフ養成講座 「やさしい日本語※」で日本語の話し方を教える方法について学習し、受講後、ボランティアスタッフの登録を募る。 ※「やさしい日本語」とは、難しい言葉を使わずに、分かりやすい言葉を使った表現で言い換えたりするもの。 【吉川市国際友好協会】外国人住民を対象にした日本語を学ぶ教室 毎週火曜日に市民交流センターおあしす生活工房で、土曜日隔週にウェルシアイオンタウン吉川美南店で実施。
問合せ	市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当 ☎982・9458

市民シンクタンク・市民活動団体	
ねらい・効果	「市民シンクタンク事業」とは、市民の参画及び協働を推進し、市民と市とが連携して市政運営に取り組むとともに、市民が有する専門的知識及び経験を市政に生かすことを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「市民シンクタンク」とは、専門的知識や経験を有する研究員が市民目線で地域課題を提起し、調査・分析を経て課題解決方策などを市へ提言することができる。 <ul style="list-style-type: none"> 【令和4年度】：市民シンクタンクにおける政策提言状況 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 提言：「道路美化オリンピック」開催について ➢ 提言：吉川市庁舎跡地利活用に関する提言
問合せ	市民参加推進課 市民参画担当 ☎982・9685

自治会活動啓発等による自治会加入の促進	
ねらい・効果	自治会へより多くの地域住民の加入促進を図ることで地域コミュニティの形成へとつなげ、安全・安心で住みよい地域づくりを促進することがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「自治会加入促進チラシ」を地域課題を地域で解決するための勉強会で新調し、転入・転居者へ配布。 最寄りの自治会事業を把握していただくため、市ホームページで「市内自治会の活動紹介」を公開。
問合せ	市民参加推進課 市民参画担当 ☎982・9685

地域による地域課題解決の推進	
ねらい・効果	地域に住む人々が、地域の課題を地域で解決するための方策等を検討することで、安心して暮らせる住みよい地域社会を実現することがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の協働による、「地域課題を地域で解決するための勉強会」を開催していく。 これまで、4つの分科会（自治会課題、地域減災、多文化共生、高齢者支援）に分かれ、議論を行ってきた。 【令和4年度】多文化共生 2回、地域減災12回、自治会課題1回
問合せ	市民参加推進課 市民参画担当 ☎982・9685

自主防災組織	
ねらい・効果	自主防災組織は、「自分たちの街は、自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される組織であり、災害時に、消火活動や救出救助活動を組織的に取り組むことで、被害を最小限に抑えることが期待される。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織への助成 自主防災組織が行う減災活動、減災資器材の購入について、助成を行う。 自主防災組織の設立を促進 自主防災組織が未設立の自治会に対し、自主防災組織の設立に向けた減災講習会などを行う。 <p>◎自主防災組織の活動を引き続き支援するとともに、自主防災組織の組織率が令和8年度までに94%になるよう、自主防災組織の意義や必要性などを発信していく。</p> <p>自主防災組織の組織率 89.5%（令和5年3月31日現在）</p>
問合せ	危機管理課 危機管理担当 ☎982・9471

自主防犯活動団体	
ねらい・効果	地域・市・警察等が連携して防犯活動を行うことで、犯罪の発生を抑止する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民などに対し、防災行政無線や安全安心メール、X(旧 Twitter)等による防犯情報の提供を行う。また、啓発品の配布や世帯訪問による啓発を行う。 自主防犯活動に対し、防犯パトロールを依頼する。 自主防犯活動に対し、防犯用具の貸与や青色回転灯防犯パトロール車の貸出を行う。 保第二公園防犯活動ステーションを運営する。
問合せ	危機管理課 交通安全担当 ☎940・1072

環境保全協定の推進	
ねらい・効果	事業者と周辺住民等が操業前にコミュニケーションを図ることで、住民等の事業所に対する理解を深めるとともに、事業所の公害防止対策を促進し、周辺の生活環境を保全する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮事業を行おうとする事業者を対象に、事業実施にあたっての周辺環境を保全するための配慮事項を定め、市と事業者で任意の協定を締結するものである。事業者は、事業所周辺の住民及び事業者に対する説明会を行い、近隣と事前にコミュニケーションを図ってもらう。苦情対応の窓口を明示するなど、操業開始後の不安を解消できる内容を双方で協議し、その内容を協定書に反映させる。
問合せ	環境課 環境保全係 ☎982・9698

地域と学校の連携	
ねらい・効果	学校の運営改善や児童生徒の安全や健やかな成長のために、保護者と地域住民などが学校運営に参加したり、支援や協力をしてもらうことで、信頼関係を深めていくことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各学校ごとに、学校運営協議会（地域住民や保護者などで組織）を設置して、教育課程の編成、学校経営計画に関することなどの承認を行うほか、学校を取りまく様々な課題について意見交換を行い、学校だけではなく保護者や地域住民と共通認識を持つようになっている。
問合せ	学校教育課 学校支援担当 ☎984・3564

(4) イベント

① なまずの里よしかわ

なまずの里マラソン	
ねらい・効果	吉川市が誇る一大イベントである『なまずの里マラソン』の開催を通して、愛着心や認知度の向上を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">『吉川なまずの里マラソン』は毎年4月に開催され、満開の桜並木や田園風景など、自然豊かな風景を楽しみながらマラソンを楽しむことができる、吉川市が誇るイベントであり、認知度も高い。市民はランナーとして、またスタッフとして参加してもらうことで、吉川市の魅力を再発見し、地域に対する誇りや愛着心の向上につなげる。市外の方にはランナーとして参加してもらうことで吉川市を知っていただく。「また参加したい」と思ってもらえるような大会にすることで、「応援したいまち」として共感をもってもらおう。 <p>◎ イベントの内容を見直すことで、より市民が参加しやすい大会にしていくとともに、市外に向けては吉川市の魅力を発信できるようなイベントにする。</p>
問合せ	吉川なまずの里マラソン実行委員会（スポーツ推進課） ☎982・6800




なまずサミット・なまずの日イベント	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> なまずサミット なまずの食文化や信仰など、その魅力を全国に向けて発信することにより、関連産業の発展およびなまずを生かした文化・地域振興を図っていく。 なまずの日 7月2日「なまずの日」を記念して、市民に親しみのある「なまず」を活用し、市への誇りと愛着を感じてもらい、市のPRにつなげる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> なまずサミット <ul style="list-style-type: none"> なまずグルメの提供 なまずに関するパネルディスカッション 自治体PR・展示 なまずの日制定 なまずの日 <ul style="list-style-type: none"> なまず料理の提供・なまずふれあいコーナー なまず水族館 なまずアート体験・なまずの日制定5周年を記念しなまずオリジナルポストの設置（R4.7.2）・なまずのぼり（紙、布）・なまずの日ものづくり体験教室 <p>◎令和5年度 なまずサミット2023 inよしかわの開催</p>
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697




よしかわ観光協会事業	
ねらい・効果	吉川市の観光事業の健全な発展と振興及び地域の活性化を図ることにより、市民の生活、文化および産業経済の向上発展に寄与することを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川八坂祭りの支援 フォトコンテストの開催 さくらまつりの開催 なまず御前の販売支援 市内事業者の物販イベントとしてよしかわマルシェ（開催支援）、吉川フェア（イオンとの協働）、埼玉県フェア（市内事業者の出店支援）、市民まつり（観光協として参加）物販参加など Instagramによる情報発信
問合せ	よしかわ観光協会（商工課） ☎982・9697




②地域産業の躍動


体験田植・稲刈、さつまいも掘り体験など市内農業のPR	
ねらい・効果	「食と農」への理解を深め、市民が安全安心な吉川産農産物を購入し、美味しく食べられるとともに、消費拡大により市内農業者の経営安定を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川産農産物販売促進協議会主催イベント「体験田植え・稲刈り」をはじめ、「さつまいも植付け・収穫体験」「吉川フェア」などの各種イベントを通じ、市内農産物のPRを行う。 貸農園である「吉川市市民農園」および「吉川市グリーンファーム」により、土に親しむことで得られる癒しと充実感及び農業への理解を深めてもらう。 
問合せ	農政課 農政係 ☎982・9482

農産物品評会・展示会	
ねらい・効果	市内農家の農産物を品評・展示することにより、農家の生産意欲の向上・活性化と地産地消を推進する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年11月に開催される「市民まつり」の前日に農産物品評会を実施。まつり当日に展示・即売会を行う。 ◎農家の減少により、年々出品数が減少しているが、引き続き、多くの出品数が確保できるよう農業者への声掛けを行い、地場産の魅力を市民に伝える。
問合せ	農政課 農政係 ☎982・9482


よしかわマルシェ	
ねらい・効果	市内で商業、サービス業および農業を営む生産者等と消費者を結ぶさまざまな事業を展開し、生産者等と消費者の交流や市民の地元産業に対する理解を深めるとともに、市内における消費拡大を推進する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会の支援事業として、市内農商工業事業者の出店団体（実行委員会）が年2～3回程度開催している。おあしすやユニクス吉川駐車場で開催。 
問合せ	よしかわマルシェ実行委員会（商工課） ☎982・9697


③よしかわの魅力実感(生活)


市民まつり	
ねらい・効果	市民同士の交流と連帯感を高め、市民文化の向上に寄与するとともに、ふるさとづくりを推進することを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年11月の第3日曜日に吉川市民まつりをおあしすおよび永田公園を会場に開催する。農業まつり、交通安全まつり、健康福祉まつり、商工まつり、市民交流まつりの5部門に分かれて開催する。 
問合せ	市民参加推進課 市民参画担当 ☎982・9685


インターナショナルフレンドシップパーティ	
ねらい・効果	吉川市民や近隣住民、在住外国人が交流し、互いの文化を紹介し合う場を設けることで、日本人と外国人が相互理解を深め、共に地域を支えるという「多文化共生」の推進を促す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室学習者によるスピーチや、各国の音楽やダンスを披露する。 吉川市国際友好協会と市との共催事業 実績（過去5年） 日程：平成30年9月23日、令和元年10月6日、令和2年、令和3年中止（新型コロナウイルスのため）、令和5年2月26日 ステージのみ 場所：市民交流センターおあしす ◎令和5年度予定：令和6年2月 
問合せ	市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当 ☎982・9458



コミュニティ協議会が実施する事業	
ねらい・効果	吉川市におけるコミュニティづくりを推進し、活力ある人間性豊かなまちづくりの実現をめざすことを目的とする。
取組内容	協議会の目的に賛同する団体が構成員となり、主に次の事業を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> なつやすみよしかわクイズラリー 平和バスツアー
問合せ	吉川市コミュニティ協議会（市民参加推進課） ☎982・9685


平和のつどい・平和バスツアー	
ねらい・効果	平和で豊かな社会を築き次の世代に引き継いでいくため、平和への願いを結集し、市民一人ひとりが努力することを誓い、過去の悲惨な戦争を振り返りながら平和について改めて考える機会を提供する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 戦争を知らない世代が増えているなか、過去の悲惨な戦争を振り返り、平和について改めて考える機会を提供し、平和への願いを次の世代に伝えていくため、夏休みに「平和のつどい」や「平和バスツアー」を開催する。 
問合せ	市民参加推進課 市民参画担当 ☎982・9685

減災プロジェクト	
ねらい・効果	避難所の開設や停電を想定した資器材の組み立てなど、より実践的な訓練を行うことで、避難行動の理解促進や地域コミュニティによる減災力の向上を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「自助・共助」をテーマとして、水害時および震災時における減災意識の向上と、避難行動の理解促進、地域コミュニティによる減災力の向上を図るため、毎年11月頃に、市内小学校で市民参加型の訓練を実施する。 <p>◎より多くの方が減災プロジェクトに参加してもらえるよう、出前講座やホームページなどのあらゆる機会を捉えて、周知していく。</p> 
問合せ	危機管理課 危機管理担当 ☎982・9471


市内一斉美化運動	
ねらい・効果	市内環境、河川景観を保全するとともに、市民の地域美化とごみに関する意識の啓発を行う。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年5月に開催される江戸川クリーン大作戦（主催：国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所、江戸川沿川13市区町）に合わせ、市民の協力を得て市内全域で「市内一斉美化運動」を行う。 
問合せ	環境課 資源化推進係 ☎982・9696

さくらまつり	
ねらい・効果	吉川の観光資源である「さくら」に親しむイベントを開催し、市内外から多くの人を呼び込み吉川の魅力を発信していく。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライトアップ：3月下旬～4月上旬、午後6時～9時※開花状況によっては期間の変更あり。 ・ 店舗出店：なまずの里マラソンと同日に開催、午前11時～午後4時 
問合せ	よしかわ観光協会（商工課） ☎982・9697

フォトコンテスト	
ねらい・効果	市の様々なスポット、名所、四季の風物詩などの写真を通じて紹介するとともに、吉川市の魅力を再発見・発信していくことを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：吉川の四季 ・ 応募資格：プロ・アマチュア住所問わずだれでも可 ・ 応募期間：8月上旬〆切 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 応募者本人が吉川市内で撮影した写真であること。 ➢ 応募写真は1人3点まで。（他のコンテストに応募していない写真） ➢ カラー、モノクロ写真ともA4または4ツ切サイズ ・ 応募写真は公共施設などで展示会を行う。 ・ 入賞作品を表彰及びカレンダーとして販売 ・ 企業の名入れ対応  
問合せ	よしかわ観光協会（商工課） ☎982・9697

吉川八坂祭り	
ねらい・効果	市内外から多くの観光客を集客し、地域の活性化につなげる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年7月中旬に吉川の平沼地区、栄町地区で八坂祭りが行われ、平成3年からは、いちよう通りで、神輿が一堂に会する「神輿競演」を行っている。 
問合せ	吉川八坂祭り実行委員会（商工課）☎982・9697

合同就職面接会	
ねらい・効果	市内産業（農業・商業・工業）の活性化と市内事業所の人材確保、障がい者の雇用促進、求職者（障がい者含む）の就労を支援する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークと共催で、市内に就労場所を有する事業所と一般（中途採用）および大卒等（大学・短大・専門学校卒業予定）の求職者（障がい者を含む）との採用面接と会社説明を行う。 事業所の魅力をアピールすることにより求職者の参加を増やすため、事業所紹介パンフレットを作成し、求職者に配布するとともにホームページ等に掲載する。
問合せ	商工課 消費労政係☎982・9697


川まつり	
ねらい・効果	川に育まれてきた吉川市の歴史や文化に対する理解を深め、郷土を愛する心を育んでもらう。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 和舟の展示を通して、先人が川とともに暮らしていた当時の様子を体験してもらう。 川で暮らす生き物や農産物を展示して自然がもたらす恵み、自然を残すことの重要性を学んでもらい、環境保全やSDGsへの意識向上と郷土への愛着を深めてもらう。 <p>◎川まつり会場として利用していた大場川において、令和4年度から河川改修工事が始まったため、工事の進捗状況を見ながら、開催場所や取組内容を検討する。</p> 
問合せ	河川下水道課 総合治水係☎982・9981

水道啓発イベント	
ねらい・効果	水道事業の役割や水の大切さ、災害時の備え、浄水の仕組みなどについて体験を通じて理解を深める。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 給水管接続体験 • 水道管の展示 • 給水車からの応急給水体験 • ろ過体験 • パネル展示 • 水道事業紹介動画の上映 <p>◎水道事業単独開催だけでなく、他のイベントに参加するなど参加者が増加するような取組みを検討する。</p>
問合せ	水道課 庶務係 ☎982・7711



④よしかわの魅力実感(こども・学び)

子ども未来応援集会	
ねらい・効果	吉川市子どもの貧困対策推進計画に基づき、市民・団体間の情報の共有化を図り、連携を強化する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの貧困対策の機運の醸成を図るとともに、市民、地域団体、NPO、行政などが一堂に会する場を設け、そこでお互いの取組を紹介しながら、情報を共有し、連携を強化するため、子どもの未来応援集会を開催する。 ◎令和5年度に第二期子どもの貧困対策推進計画の策定を予定している。 子ども未来応援集会の開催回数 令和3年度：3回、令和4年度3回開催
問合せ	子育て支援課 子育て支援係 ☎982・9529

未来への輪	
ねらい・効果	ひとり親家庭の子どもたちが、「吉川に住んでよかった」と感じ、自分らしく未来へはばたくためのきっかけをつくる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 未来への輪 よしかわ ～ふるさとを愛し、共に未来へはばたこう～ (市長からの応援メッセージ事業) ひとり親家庭等の子どもたちが、市長や大人たちと作品づくり等を通してふれあい、「応援してくれる大人がいる」ということを肌で感じ、知ってもらうとともに、より良い学校生活や子ども自身の将来につながる交流の場となることを期待し、実施する。 
問合せ	子育て支援課 子育て支援係 ☎982・9529

児童館イベント	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもに健全な遊びを提供し、その健全育成と健康増進を図る」目的を達成するため、主に「遊び」を通じた事業、体験活動を展開する。また、学習要素も取り入れ、学校教育との相乗効果もねらいとする。 児童館には、子どもの育ちに関する地域組織活動を支援する役割、機能もあることから、これらの活動の支援とともに、地域の子どもたちの健全育成に資する団体と連携した事業も展開していく。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児とその保護者が楽しめる事業 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「おえかきらんど」：児童館職員による絵本の読み聞かせ、季節に応じた簡単な制作など ➢ 「おはなしらんど」：市内図書館スタッフによる絵本や紙芝居の読み聞かせ ➢ 「びりびりらんど」：新聞紙やボールを使用したレクリエーション遊び ➢ 「ワンダーサーキット」：ハンドル操作だけで進む「プラズマカー」に乗り、楽しむことができる。 ➢ 「ワンダー七夕まつり」：短冊の飾りつけなど。 ➢ 「ワンダー豆まき」：豆まきの由来を紙芝居で紹介するほか、新聞紙で作った福豆で豆まきなどを行う。 小学生が自ら考える、行動する、個性を活かす、協力する事業 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「新聞ドームづくり」：新聞紙を広く貼りあわせて、こどもが中に入れるほど大きなドームを作る。 ➢ 「バスボムづくり」：食紅やアロマオイルなど、好きな材料を選んでオリジナルのバスボムを作る。 ➢ 「草木染め体験」…児童館敷地で採取できる植物の葉などを煮出して好きな布などに染める。 ➢ 「ワンダーフリマ」…フリーマーケットの場を通じて「人との関わり」を学び、物を大切にすることを育む。また、現金を扱った「売り手」「買い手」双方の経験をすることで「お金の価値」やその大切さを実感する。 <p>◎引き続き子どもたちの健全育成に資する各種事業を展開していく。今後は特に、企業とも連携し、児童館を訪れる子どもたちが「地元・吉川市」を実感できるような事業展開に力を注ぐ。</p> <p>◎令和8年度に市内各所での実施が想定される市制施行30周年記念事業と併せた事業展開を検討する。</p> <p>◎市内中学校、高等学校との連携を図りつつ、中高生向けの事業を展開し、中高生世代の居場所をつくるとともに、必要に応じた援助を行う。</p>
問合せ	児童館ワンダーランド ☎981・6811



天文科学運営事業（プラネタリウム）	
ねらい・効果	「プラネタリウム」や「天体望遠鏡」といった特徴的な設備を活かし、児童館を訪れる子どものほか、幅広い市民に宇宙や天文科学への興味関心を深めてもらえるような事業を展開する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • プラネタリウム <ul style="list-style-type: none"> ➤ 一般（定期）投影…3歳以上、全天周番組の投影、季節の星座解説 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 土日、祝日午前11時～、午後3時～ ※上記以外にも投影する場合あり ➤ 特別投影 <ul style="list-style-type: none"> ◇ ベビーもいっしょ♪家族でプラネタリウム…0歳から観覧可能。 ◇ アロマが香るプラネタリウム…アロマを用いた癒しの空間を創出。 ◇ 全編生解説…約45分間の全編を職員が解説する。 • 天体観望会 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 天体望遠鏡を用いて、「月」や「惑星（木星や土星）」などの観望を行う。併せて、市民ボランティアによる「今夜の星空解説」を実施。望遠鏡による天体観望と関連した天文現象について分かりやすく解説。天体望遠鏡の使い方や、スマホを使った星空の撮影方法についても説明する。 • 宇宙航空研究開発機構（JAXA）の連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 児童館開館30周年記念事業（平成30年度）には国際宇宙ステーション（ISS）とのリアルタイム交信事業を実施。その後もJAXA職員による講演会などを実施しており、今後も宇宙・天文科学関連事業の一つとしてJAXAと調整を図りながら事業を実施していく。 <p>◎ 天文科学運営事業は、児童館の特徴的な事業の一つであり、今後も工夫を凝らした事業を展開していく。</p> <p>◎ どなたにも気軽に楽しんでいただける「プラネタリウム全天周番組」は、観覧者からの感想（アンケート結果）を踏まえて選定し、適宜更新していく。</p> <p>◎ 「プラネタリウム投影」は、学校教育活動における様々な学習需要に応じた「学習投影」の工夫を図るとともに、「全編生解説投影」「震災特別番組」「熟睡プラネタリウム」など、投影の幅を広げた事業展開を図る。</p> <p>◎ 毎回、様々なテーマで実施し、市民ボランティアの分かりやすい解説が好評な「天体観望会」は、持ち運び可能な天体望遠鏡を活用し、児童館以外の場所で実施する「出張天体観望会」も開催していく。</p> <p>◎ 令和8年度に市内各所での実施が想定される市制施行30周年記念事業と併せた事業展開を検討する。</p>
問合せ	児童館ワンダーランド ☎981・6811



学校給食センターイベント	
ねらい・効果	食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身につけてもらうため、さまざまな取組を通じ、児童生徒自らが健康管理ができる資質や能力と、豊かな人間性を育む基礎を養うことがねらい。併せて、食育の重要性について、関係者や地域に広く周知を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとの「行事食」や「世界の料理・日本の料理」の提供 ・ 「なまずの日献立」の提供とオンラインイベントの実施 ・ 学校給食交流事業の実施（姉妹都市・友好都市との交流） ・ 学校給食センター見学会の実施（親子探検隊・学校給食センターフェスティバル） ・ 「本の世界と給食」をテーマに本に登場する料理を給食で再現し提供 ・ 「給食展（学校給食×SDGs）」の開催 ・ 地元生産者の協力を得て農産物の収穫体験の実施 ・ X(旧 Twitter)により地元生産者のインタビュー動画や食育について配信 ・ 給食で人気のメニュー（コロコロきゅうり・から揚げ）の作り方を公式 YouTube で配信 ・ 試食会の実施
問合せ	学校給食センター ☎940・0790

青少年健全育成大会	
ねらい・効果	地域の子どもは地域が守り、育てるという共通認識のもと、大会を通して青少年の健全育成について考える。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年1回、各小中学校及び吉川美南高校から標語や作文を募集し、青少年健全育成大会で発表する。 ・ 発表の内容：少年の主張とあいさつに関する標語
問合せ	少年センター ☎981・3863

演劇プロジェクト	
ねらい・効果	子どもから高齢者、障がい者、外国人などを含むあらゆる市民が参加できる文化芸術事業を継続性を持って展開することで、文化芸術活動の推進にとどまらず、生きがいづくりやコミュニケーション能力の向上が図られるとともに、まちの文化資源となり地域への愛着心の向上につなげる。
取組内容	<p>演劇公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 平成29年第1回演劇公演「Y市のフシギな住人たち」 ➢ 平成30年第2回演劇公演「あゆみ」 ➢ 令和元年第3回演劇公演「らしょうものおに」 ➢ 令和4年第4回演劇公演「ばかされ～異聞吉川譚～」 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 平成30年公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団との共催公演 ➢ 『めにみえない みみにしたい』 ➢ 令和元年平和のつどいでの朗読劇 など
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563




家庭教育学級	
ねらい・効果	家族が安心して子育てや家庭教育を行える環境が整備され、住み続けたいまちとなり、地域への愛着心の向上を目指すもの。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校PTAや保育所（園）、幼稚園の保護者会に家庭教育の振興を図るため、家庭教育学級の説明会を開催する。 ・PTA連合会と共同で合同家庭教育学級を開催する。 ・実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 第1回PTA連合会合同家庭教育学級 人権研修会 「めぐみへの誓い」映画上映会と野伏翔監督アフタートーク ➢ 第2回PTA連合会合同家庭教育学級 「子ども達の幸せのためにオトナができること」オカダサヨコ氏講演会 <p>◎引き続き家庭教育の振興を図り、家庭教育学級参加者数2000人以上の達成を目指す。</p>
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563


市民文化祭	
ねらい・効果	昭和51年から続く文化祭として、市民の文化芸術に対する理解と市民相互の交流を深め、市民文化の向上に寄与してきた。地域に根付く文化芸術イベントとして、郷土愛にもつながっている。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民等で構成された吉川市民文化祭実行委員会が主催となり、展示・公開の部と芸能・音楽の部に分け、市民や市内活動団体の文化芸術の発表の場になっている。 実績【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館、平沼地区公民館で開催 参加者数479人、来場者数1,582人
問合せ	吉川市民文化祭実行委員会（生涯学習課） ☎984・3563




市展	
ねらい・効果	市民による芸術作品を展示し、市民が芸術に触れる機会を設けることで、市民の文化芸術への理解と創造力の啓発を図るとともに、地域への愛着心の向上を目指すもの。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市では初めての開催である公募展、吉川市美術展覧会の開催。絵画、書、写真、工芸の4部門の作品を募集し、審査、表彰する。 実績【令和4年度（隔年開催）】 <ul style="list-style-type: none"> 第1回吉川市美術展覧会（市展）開催 市民交流センターおあしす、市役所で開催 入選数66作品、来場者数1,030人 <p>◎令和6年度に第2回、令和8年度に第3回の市展の開催を予定。</p>
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563




成人式	
ねらい・効果	成人の社会参加の一つとして、たくさんの人々に支えられていることを感じながら、主体的に成人式の実施に関わり、おとなの自覚をもって未来に羽ばたくことを祝い励ますとともに、二十歳の思い出作りを行うことで郷土愛の向上を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 実績 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 令和5年：参加者数531人（参加率71.6%） ➢ 令和4年：参加者数555人（参加率67.3%） ➢ 令和3年：参加者数488人（参加率62.8%） 
問合せ	成人式実行委員会（生涯学習課） ☎984・3563


ハイク探検団	
ねらい・効果	子どもたちが吉川市の風土と歴史を体験し、日本語の響きやリズムに親しむ俳句を通して郷土愛を育み、文化芸術の振興を進める。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市の風土と歴史が感じられる場所へ赴き、俳句講師とともに俳句を詠む。 実績： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 令和4年度：6人参加（小学生）、よこまちの杜・市民農園・定勝寺を訪問 ➢ 令和3年度：6人参加（小学生）、中井沼公園・沼辺公園を訪問 
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563

文化芸術祭	
ねらい・効果	市民が文化芸術に触れ合う機会を創出するとともに、市内で活動する文化団体である「吉川市文化連盟」が主催となる事業を行うことで、市民自らが団体活動に興味をもってもらう機会を創出する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2022文化芸術祭 クリスマスコンサート 参加者361人
問合せ	吉川市文化連盟（生涯学習課） ☎984・3563

文藝よしかわ	
ねらい・効果	市内の文藝創作活動を促すとともに、優れた作品を市民に提供し、文芸活動の普及向上を図っている。子どもから高齢者まで、幅広い世代の創作活動につながっている。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 吉川市市制施行20周年を記念し刊行、令和5年3月に第7号を刊行した。 • 市内在住、在勤・在学者から小説・随筆、短歌、俳句、川柳、挿絵、小中学生作文の計6部門の文芸作品を募り選考した優秀作品を冊子にまとめ発行している。 • 著名な作家等が審査することで、市民の文化芸術への関心を高めている。 • 第1号から最新号まで市内図書館で閲覧できるほか、生涯学習課や中央公民館などで500円で販売。 • 令和4年度は6部門合計745点の作品が応募された。 • 優秀作品は映像化しており、YouTubeで公開されている。 
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563

図書館イベント	
ねらい・効果	イベント開催による来館機会を創出し、図書館における「知るよろこび、読むたのしみ」の創出、地域のサードプレイスづくりに寄与することで、地域への愛着心の向上につながることをねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 図書館利用促進に留まらない多様な図書館を活用したイベントを開催 • 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 様々な年齢層をターゲットにした読書会・おはなし会 ➢ 市各課と連携したテーマ別資料展示（長寿支援課、危機管理課、市民参加推進課、障がい福祉課、健康増進課と連携） ➢ 子どもから大人まで幅広い年齢層毎の映画上映会（全5回219人） ➢ 落語会（全2回196人） ➢ 出版関連セミナー（全3回60人） ➢ 図書館の見学会（全4回21人） ➢ 思い出サロン（全4回35人） など
問合せ	市立図書館 ☎984・1889

生音コンサート	
ねらい・効果	市のさらなる文化芸術振興を目指すため、より身近な場所で見、聴いて、感じることができるコンサートを開催する。音楽と市民との幸福な出会いを創り出し、文化芸術に触れてみたくなる行動につなげることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> クラシック音楽のアーティストを公共ホールに派遣し、市と演奏家の共同で企画したコンサートを実施するとともに、学校でのアクティビティ（地域交流プログラム）を行う。 実績：【令和3年度（隔年事業）】 加藤文枝チェロコンサート（173人） 
問合せ	生涯学習課 生涯学習担当 ☎984・3563

公民館イベント	
ねらい・効果	中央公民館では、市民の地域交流や生きがいの創出、子供の居場所づくりなどを促進させるさまざまな講座やイベントを企画・開催している。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み！小学生勉強部屋（参加者数11人） えほんのひろば（参加者数87人） 味噌造り教室（参加者数20人） 書初め教室（参加者数20人） シニアのためのこころと身体の健康講座（参加者数21人）など 
問合せ	中央公民館 ☎981・1231


⑤よしかわの魅力実感(健康・福祉)

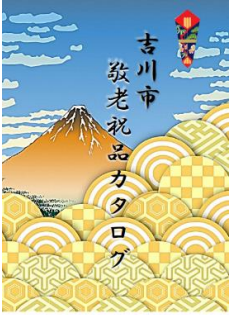
手話講習会・点字講習会	
ねらい・効果	手話通訳者の育成や点字に親しむ機会を増やし、より多くの人と障がいを持った方が交流しやすいようにしていくことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 実績： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 手話講習会【令和3年度】ステップアップ編全10回(13人) 【令和4年度】基礎課程 全24回(8人) ➢ 点字講習会【令和3年度】全20回(8人) 【令和4年度】全20回(3人)
問合せ	障がい福祉課 障がい支援係 ☎982・5238


屋内スポーツ大会	
ねらい・効果	障がいのある方もない方もルールや道具を工夫することで、ともにスポーツを楽しむ機会を提供し、新たな出会いから市民の交流を深めてもらうことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • ヨーロッパで生まれた東京2020パラリンピックの正式種目でもあるボッチャや、北九州市で生まれたふうせんバレーなど老若男女、障がいの有無を問わず誰もが楽しめるスポーツを実施。 • 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 参加者60人
問合せ	屋内スポーツ大会実行委員会(障がい福祉課) ☎982・5238

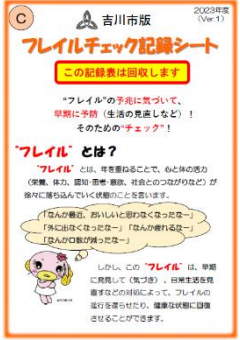
障がい者アート展	
ねらい・効果	障がいのある方もない方もともに交流できる場所や障がいのある方の潜在的な力を発揮できる機会を提供し、より多くの方々に障がい者への関心と理解を深めてもらうことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 募集内容 絵、工作、写真の3部門(自由なテーマで募集) ➢ 応募資格 市内在住または市内障がい福祉サービス事業所利用者 ➢ 表彰 優秀作品の作者への表彰と記念品贈呈
問合せ	障がい福祉課 障がい支援係 ☎982・5238


ペアレント・トレーニング講座（発達障がい児）	
ねらい・効果	子どもの「行動」に注目し、よい行動のとらえ方や考え方を学ぶ講座。保護者が発達障がいの子どもに合わせた関わり方を習得し、家庭での早期療育に繋げることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの「行動」の捉え方・考え方、「ほめる」を考える、ほめる「きっかけ」、楽しい行動を増やす・先輩ママの体験談、まとめ・振り返り、福祉サービスの案内を行う。 実績： <ul style="list-style-type: none"> ➤【令和3年度】全5回（5人） ➤【令和4年度】全5回（6人）
問合せ	障がい福祉課 障がい支援係 ☎982・5238

いきいき運動教室	
ねらい・効果	運動教室に参加することで、運動の専門家からトレーニング方法を学ぶほか、会話や一緒に運動することで参加者同士のつながりが生まれ、要介護状態となることを予防するとともに、自身の健康の維持を図ることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内5か所9コース、前期・後期に分けて実施。週1回、1回あたり90分程度の運動を行い、高齢者の方が運動習慣を身につけることを目指す。 男性にターゲットを絞った「男性のための運動教室」も開催。運動だけでなくそば打ちなどの食のテーマも盛り込み、楽しみながら参加できる場を提供。 
問合せ	長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118

敬老祝い品	
ねらい・効果	元気でいきいきと暮らす魅力ある高齢者に長寿のお祝いをする。また、市内はもとより市外へ発信をしていくほか、市内の事業所に協力してもらいながら市に根付いた商品を掲載していくことで、興味関心を持ってもらうことがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 米寿（満88歳）、白寿（99歳）を迎える方へ、敬老の意を表し、長寿のお祝いとして祝品または祝金を贈呈する。 祝品は市オリジナルのカatalogギフトから選ぶ。市内事業者と共にカatalogを作成し、市に根付いた商品をはじめ、お食事券や工芸品、お菓子など、40程度の商品の中から好きなものを選ぶことができる。 
問合せ	長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118

脳活ドリル	
ねらい・効果	健康で長寿な方々に共通していることは、日頃から思考をしたり、指先を使ったりと常に脳が活性化されていること。健康長寿、そして家族との幸せな時間を過ごす一つのツールとなることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市を題材にした迷路、間違い探し、塗り絵など、全8種類の問題を収録した吉川市オリジナルの脳トレ問題集。 コロナワクチン予防接種会場や市役所、老人福祉センター等の施設にて配布。 地域サロンやデイサービス、各ご家庭で、楽しい時間を過ごす一つのツールとして活用されている。 
問合せ	長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118


フレイルチェック	
ねらい・効果	フレイル（加齢に伴う心身の衰え）に早期に気づき、要介護状態に陥ることを予防することがねらい。定期的にフレイルチェックに参加し、今の身体や心の状態をチェックする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 栄養、口腔、社会参加に関することなどの質問項目と、握力、筋力、歩く能力、体組成測定（筋肉量、体脂肪率）などの体力測定から、フレイルが入り込むすき間を発見し、自身で生活を見直すきっかけづくりとその方法を学ぶ。 中央公民館等を会場とした市主催のフレイルチェックやいきいき運動教室内で実施しており、理学療法士による測定結果の解説講義も行われている。 
問合せ	長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118


老人福祉センターイベント	
ねらい・効果	シニア活動センターとして、いろいろな人が交流できる、集いの場を目指し、高齢者の方の健康維持や増進、仲間づくりが生まれるといった活動やその機会を提供する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の健康体操をはじめ、週1回のサロン開催、シアター上映、スポーツ大会など、高齢者が気軽に集える憩いの場の提供。高齢者の方だけではなく、フリーマーケットやカラオケ大会など多世代で楽しめる企画を指定管理者制度を活用し展開している。 
問合せ	老人福祉センター ☎982・7717、長寿支援課 高齢福祉係 ☎982・5118

ウォーキングの推進	
ねらい・効果	比較的気軽に始めることができるウォーキングを広く市民に推進することで、生活習慣病の予防による健康寿命の延伸を目的とする。また効果として、医療費の抑制や地域住民の交流も期待できる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングリーダー養成講座の開催 ウォーキングについての知識を有し、率先してウォーキングに取り組むリーダーを、講座や実践の機会を通して養成する。 ◎令和8年の目標値 ウォーキングリーダー累計養成者数200人
問合せ	健康増進課 健康づくり支援係 ☎982・9804

よしかわ健康・体力づくりポイント制度	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> ポイントサービスを活用することで、自主的に楽しみながら健康づくりへの取組みの強化を図る。 市民の健康づくりの重要性を広く普及啓発する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 健診の受診や健康・スポーツ・介護予防事業の参加、主体的な体力づくり・健康づくりの実施などに対して、ポイントカードにスタンプを押し、ポイントが貯まった方に景品を贈呈する。 市民の健康づくりのきっかけとなるよう、健診等の場面でPRし、普及啓発を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> ➤実績：【令和4年度】事業参加者数246人 ◎令和8年の目標値：事業参加者数250人
問合せ	健康増進課 健康づくり支援係 ☎982・9804

パパママ学級	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> これから出産を迎える母親や父親に対し、妊娠期からの健康管理や育児に関する指導を行うことで、安全な出産と健やかな育児のスタートを支援する。 家族そろって生涯の健康づくりに取り組めるよう指導する。 参加者同士の交流。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健師、助産師、栄養士、歯科衛生師による、妊娠中の健康管理や育児、栄養等に関する知識や実践のための学習機会を提供する 同時期に出産を迎える、地域の仲間づくりの機会を提供 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 実績：【令和4年度】事業参加者延べ人数141人 <p>◎令和8年の目標値：参加延べ人数300人</p>
問合せ	健康増進課 健康づくり支援係 ☎982・9804

ボッチャ大会	
ねらい・効果	<p>世代、性別、障がい、国籍などにとらわれず、参加者がひとつになって参加することができるボッチャを通して、福祉関連部署やスポーツ推進委員と連携し、誰でも気兼ねなく楽しめる多様性に応じたスポーツ活動を展開することがねらい。</p> 
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 実績：【令和4年度】 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 参加者数 98人
問合せ	スポーツ推進課 スポーツ推進係 ☎982・6800




市民体育祭小学校区大会	
ねらい・効果	<p>市民にとって吉川市が「住み続けたいまち」となるためには、居心地がよく、住みやすいと感じることが重要である。そのためには、地域のつながりを深め、顔の見える関係づくりが必要であり、市民体育祭小学校区大会は貴重な機会となる。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育祭小学校区大会は、市内8校の各小学校区において、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が世代を超え、スポーツを通じて交流する場となっている。 大会は地域住民が中心となって企画、運営されることから、地域への愛着心が向上するとともに、顔の見える関係づくりに大きく寄与している。 
問合せ	スポーツ推進課 スポーツ推進係 ☎982・6800


2. 認知度の向上

(1) 戦略的な情報発信


① なまずの里よしかわ

川魚料理のPR	
ねらい・効果	「なまずの里よしかわ」の由縁である川魚料理の魅力を広く発信することで、市外からの来訪者の増加につなげていく。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 古くから江戸に物資を送るための舟運の拠点として栄え、中川沿いにはいくつもの河岸が築かれ、料理屋が立ち並び中で、地元でとれる新鮮な川魚を使った料理が現在に引き継がれている。 なまずグルメガイド 郷土料理として古くから親しまれているなまず料理が食べられるお店や新たななまず料理をまとめたグルメガイドの冊子 実績：令和3年度発行 商業団体による物販イベントや各種イベントなどで配架 よしかわなまずパーフェクトガイド 「なまずの里よしかわ」の見どころやなまず料理店などを1冊にまとめた冊子。 実績：令和5年度発行 「全国なまずサミット2023 in よしかわ」の開催時などで配布
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697




街で出会えるなまずたち（モニュメント）	
ねらい・効果	「なまずの里よしかわ」のまちのイメージアップの一つとして、また、訪問者の回遊性を高め、市の魅力の向上や賑わいの創出につなげていく。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内では、吉川駅南口前の「金色のなまず」モニュメントをはじめ、庁舎前には石像「森と鯰」、吉川美南駅西口前には「なまずオリジナルポスト」が、また、美南中央公園のタイルアートや市民農園の「なまずの丘」、そのほか、マンホールや交差点の車両止めポールなど、様々な表情のなまずを見ることができる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697



なまずグルメ	
ねらい・効果	なまず料理についてグルメガイドを刊行し、市内への訪問者や市民になまずグルメ知ってもらう。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> なまず料理 なまずグルメガイド刊行し、なまず料理を食べることができる店舗の情報を発信する。 なまず料理は、吉川の郷土料理として古くから親しまれ、ビタミンEが豊富で、高たんぱく、低カロリーのヘルシーな食材であり、淡泊で上品な味わいから様々な調味料との相性が抜群。 なまずのたたき揚げ なまずは鮫鱈と同様に捨てることなく、骨、頭、肝などを包丁で叩き、味噌などで味付けし、丸めて油で揚げる料理が、吉川を代表する郷土料理「なまずのたたき揚げ」。お店で味や形が異なることも特色。 
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697


②よしかわの魅力発信

市勢要覧	
ねらい・効果	市の魅力を広く発信し、市勢要覧を見た人が、市の魅力に気付き、愛着を持ち、そして思わず誰かに話したくなったり、出かけてみたくなるような行動につなげる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市の経済や産業、財政、人口などの情報に加え、自然、歴史、文化等を、写真やイラスト・グラフを用いた効果的なデザインと簡潔な文章で紹介する冊子。 実績：【令和3年度】マンガ版市勢要覧「金色(こんじき)のなまず-マンガで見る吉川市-」 <p>◎市制施行30年(令和8年)にあわせた作成を検討。市内はもとより市外に向けても市の魅力を発信していく。</p> 
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

パブリシティの推進	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 新聞やテレビなどの各種メディアを通じて市民に市に関する情報を伝えることで、市の活動に興味関心を持ってもらい、市民の吉川市への愛着心の向上と市内だけではなく市外の方々からの認知度の向上を図ることがねらい。 <p>※パブリシティとはPRの一種でプレスリリースやインタビューへの対応などを通じてメディアに内容を報道してもらう活動のこと。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 定例記者会見・プレスリリース 市が行うイベントや、まちの出来事などを記者クラブ等へ情報提供している。記者会見については、原則議会前(5・8・11・2月)に実施、プレスリリースについては適宜発信をしている。 実績：【令和4年度】定例記者会見：4回、プレスリリース：106件 テレビ埼玉データ放送 テレビ埼玉の市町村データ放送を利用し、市の情報(災害時の避難情報、市のイベント情報)を発信している。 ※原則プレスリリースした情報を発信。 庁舎内での市政情報の放送 J:Comで放送されたニュース映像を庁舎内のデジタルサイネージで放送し、市のイベントなど魅力的な情報を伝えることで、愛郷心の向上に寄与することを目的とする。 実績：【令和4年度】：2本
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

撮影支援	
ねらい・効果	市内が映画やテレビドラマなどのロケ地として使われ公開されることで、地域への愛着や認知度の向上などが期待できる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 映画やテレビ番組などの撮影を考えている方と市内のさまざまな場所や施設を結ぶもの。また、令和4年度からは、ロケーション撮影の際に、受け入れに協力していただける施設などの募集をはじめた。 実績：【令和4年度】：9件（テレビ番組、CM、雑誌・カタログ・ポスター等） <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

ホームページ・SNS・広報よしかわ	
ねらい・効果	社会背景やニーズにあわせ、電子・紙媒体、プル型・プッシュ型などのさまざまなメディアを駆使し、必要な情報が必要な時に手に入る、そして見やすく分かりやすい情報発信を行い、市を知り愛着を持ってもらえるようにする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ 市の制度やサービスのご紹介、イベント情報をはじめ、市の魅力などについてプル型での情報発信を行う。 SNS（YouTube・X[旧 Twitter]） YouTube では、市政情報や市の魅力についてショートムービーで情報を伝える。また、X(旧 Twitter)では、イベント情報や旬な情報を中心に発信。 広報よしかわ 毎月1日に発行。月ごとに市からのお知らせを掲載。またタイムリーな内容について特集を組み、読み物感覚で行政情報を楽しく手に入れられるようにするなど工夫している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>◎使用メディアについては、社会背景やニーズにあわせ適宜検討していく。</p>
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

ラジオ番組「金のなまず」	
ねらい・効果	市の様々な魅力を市民が自ら取材し、その取材した内容をもとに制作した番組をラジオで放送し多くの人に聴いてもらうことで、市民にまちづくりに参加してもらい、かつ多くの人に吉川市を知り、愛着を持ってもらう機会にする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年10月から放送開始。公募により選ばれた市民パーソナリティが、テーマ選びから放送までを担当してくれます。まさに市民目線による市民のためのラジオ！ ➢ 放送日時：毎週金曜日のお昼12時30分から40分（10分間） ➢ 周波数：エフエム86.8メガヘルツ（こしがやエフエム） 
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

市の魅力発信に向けた合言葉の活用とロゴマークづくり	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> 吉川市の魅力である『住みよさ』を追求し、ブランドイメージづくり・発信をすることで、市民の吉川市への愛着心の向上と市内だけではなく市外の方々からの認知度の向上がねらい。 市民と行政が一体となったプロモーションを展開することで市民の「幸福実感の向上」を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市の魅力である“住みやすさ”をキーワードに、基本方針の中で定めた合言葉「『住みよさ』よし、よしかわ」を活用するため、戦略プラン内の取組の広告物に「『住みよさ』よし、よしかわ」という合言葉を盛り込むようにし、市の魅力について目にする機会を増やし、市民への浸透を図る。 市制施行30周年（令和8年度）に向け、令和7年度に市民等と協働する形でロゴマークのデザインを作成する。 <p>◎庁内連絡会議において進捗状況や効果などの検証を進める。</p>
問合せ	政策室 広聴広報担当 ☎982・5112

企業版ふるさと納税	
ねらい・効果	民間企業の寄附を通じた地方創生事業の推進と、民間企業とのパートナーシップの構築などを図ることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載されている事業に対し、随時寄附の受付を行っている。 令和3年度：2件、令和4年度：0件、令和5年度：2件（※8月31日現在）
問合せ	政策室 企画担当 ☎982・9445

ふるさと納税制度を活用した市の魅力発信	
ねらい・効果	市内事業者が寄附者に対し特産物等を提供することにより、市の知名度を向上させ、地元事業者を活性化させることを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者の優れた特産品を発掘し返礼品として登録することで、寄附者に対し、市の知名度向上に寄与する。 実績：【令和4年度ふるさと納税件数】1,698件
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697

キャラクター（なまりん・吉川ねぎ夫）	
ねらい・効果	吉川市の特産品等をPRするため、キャラクターを通じて子どもから大人まで幅広い世代の方々に市への愛着を持ってもらい、市外へのPRにつなげることがねらい。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> なまりん 平成22年に誕生、吉川市の特産品「なまず」をモチーフにした女の子。おしゃれに敏感なお年頃で、チャームポイントはぷっくりとしたたらこくちびるが特徴。吉川産野菜が好物で、とくに吉川ねぎが大好き！！市や自治会等の様々なイベントに登場し、イベント盛り上げの一役を担っている。さらに特産品のパッケージにデザインされたり、ポロシャツや年賀状、ポチ袋、なまず鉛筆などのグッズも作成されている他、メディアに取り上げられ、懸命に市のPRを行っている。 吉川ねぎ夫 吉川市を代表する農産物である「ねぎ」のPRを行う市の任期付職員。「全国ねぎサミット」や「吉川フェア」などに突如現れる（あまり予告されない）。
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697、農政課 農政係 ☎982・9482





(2) イベント

① なまずの里よしかわ


なまずサミット・なまずの日イベント	
ねらい・効果	<ul style="list-style-type: none"> なまずサミット なまずの食文化や信仰など、その魅力を全国に向けて発信することにより、関連産業の発展およびなまずを生かした文化・地域振興を図っていく。 なまずの日 7月2日「なまずの日」を記念して、市民に親しみのある「なまず」を活用し、市への誇りと愛着を感じてもらい、市のPRにつなげる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> なまずサミット <ul style="list-style-type: none"> ➢ なまずグルメの提供 ➢ なまずに関するパネルディカッション ➢ 自治体PR・展示 ➢ なまずの日制定 なまずの日 <ul style="list-style-type: none"> ➢ なまず料理の提供・なまずふれあいコーナー ➢ なまず水族館 ➢ なまずアート体験・なまずの日制定5周年を記念し なまずオリジナルポストの設置（R4.7.2）・ なまずのぼり（紙、布）・なまずの日ものづくり体験教室 <p>◎令和5年度 なまずサミット2023 inよしかわの開催</p>
問合せ	商工課 商工観光係 ☎982・9697




なまずの里マラソン	
ねらい・効果	吉川市が誇る一大イベントである『なまずの里マラソン』の開催を通して、愛着心や認知度の向上を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 『吉川なまずの里マラソン』は毎年4月に開催され、満開の桜並木や田園風景など、自然豊かな風景を楽しみながらマラソンを楽しむことができる、吉川市が誇るイベントであり、認知度も高い。 市民はランナーとして、またスタッフとして参加してもらうことで、吉川市の魅力を再発見し、地域に対する誇りや愛着心の向上につなげる。 市外の方にはランナーとして参加してもらうことで吉川市を知っていただく。 「また参加したい」と思ってもらえるような大会にすることで、「応援したいまち」として共感をもってもらう。 <p>◎イベントの内容を見直すことで、より市民が参加しやすい大会にしていくとともに、市外に向けては吉川市の魅力を発信できるようなイベントにする。</p> 
問合せ	吉川なまずの里マラソン実行委員会（スポーツ推進課） ☎982・6800

よしかわ観光協会事業	
ねらい・効果	吉川市の観光事業の健全な発展と振興及び地域の活性化を図ることにより、市民の生活、文化および産業経済の向上発展に寄与することを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川八坂祭りの支援 フォトコンテストの開催 さくらまつりの開催 なまず御前の販売支援 市内事業者の物販イベントとしてよしかわマルシェ（開催支援）、吉川フェア（イオンとの協働）、埼玉県フェア（市内事業者の出店支援）、市民まつり（観光協として参加）物販参加など Instagramによる情報発信 
問合せ	よしかわ観光協会（商工課） ☎982・9697

②よしかわの魅力発信



市民まつり	
ねらい・効果	市民同士の交流と連帯感を高め、市民文化の向上に寄与するとともに、ふるさとづくりを推進することを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年11月の第3日曜日に吉川市民まつりをおあしすおよび永田公園を会場に開催する。農業まつり、交通安全まつり、健康福祉まつり、商工まつり、市民交流まつりの5部門に分かれて開催する。 
問合せ	市民参加推進課 市民参画担当 ☎982・9685


体験田植・稲刈、さつまいも掘り体験など市内農業のPR	
ねらい・効果	「食と農」への理解を深め、市民が安全安心な吉川産農産物を購入し、美味しく食べられるとともに、消費拡大により市内農業者の経営安定を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 吉川産農産物販売促進協議会主催イベント「体験田植え・稲刈り」をはじめ、「さつまいも植付け・収穫体験」「吉川フェア」などの各種イベントを通じ、市内農産物のPRを行う。 貸農園である「吉川市市民農園」および「吉川市グリーンファーム」により、土に親しむことで得られる癒しと充実感及び農業への理解を深めてもらう。 
問合せ	農政課 農政係 ☎982・9482


農産物品評会・展示会	
ねらい・効果	市内農家の農産物を品評・展示することにより、農家の生産意欲の向上・活性化と地産地消を推進する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年11月に開催される「市民まつり」の前日に農産物品評会を実施。まつり当日に展示・即売会を行う。 ◎農家の減少により、年々出品数が減少しているが、引き続き、多くの出品数が確保できるよう農業者への声掛けを行い、地場産の魅力を市民に伝える。
問合せ	農政課 農政係 ☎982・9482

さくらまつり	
ねらい・効果	吉川の観光資源である「さくら」に親しむイベントを開催し、市内外から多くの人を呼び込み吉川の魅力を発信していく。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ライトアップ：3月下旬～4月上旬、午後6時～9時※開花状況によっては期間の変更あり。 店舗出店：なまずの里マラソンと同日に開催、午前11時～午後4時
問合せ	よしかわ観光協会（商工課） ☎982・9697



フォトコンテスト	
ねらい・効果	市の様々なスポット、名所、四季の風物詩などの写真を通じて紹介するとともに、吉川市の魅力を再発見・発信していくことを目的とする。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：吉川の四季 ・ 応募資格：プロ・アマチュア住所問わずだれでも可 ・ 応募期間：8月上旬〆切 ➢ 応募者本人が吉川市内で撮影した写真であること。 ➢ 応募写真は1人3点まで。（他のコンテストに応募していない写真） ➢ カラー、モノクロ写真ともA4または4ツ切サイズ ・ 応募写真は公共施設などで展示会を行う。 ・ 入賞作品を表彰及びカレンダーとして販売 ・ 企業の名入れ対応  
問合せ	よしかわ観光協会（商工課） ☎982・9697

よしかわマルシェ	
ねらい・効果	市内で商業、サービス業および農業を営む生産者等と消費者を結ぶさまざまな事業を展開し、生産者等と消費者の交流や市民の地元産業に対する理解を深めるとともに、市内における消費拡大を推進する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光協会の支援事業として、市内農商工業事業者の出店団体（実行委員会）が年に2～3回程度開催している。おあしすやユニクス吉川駐車場で開催。 
問合せ	よしかわマルシェ実行委員会（商工課） ☎982・9697

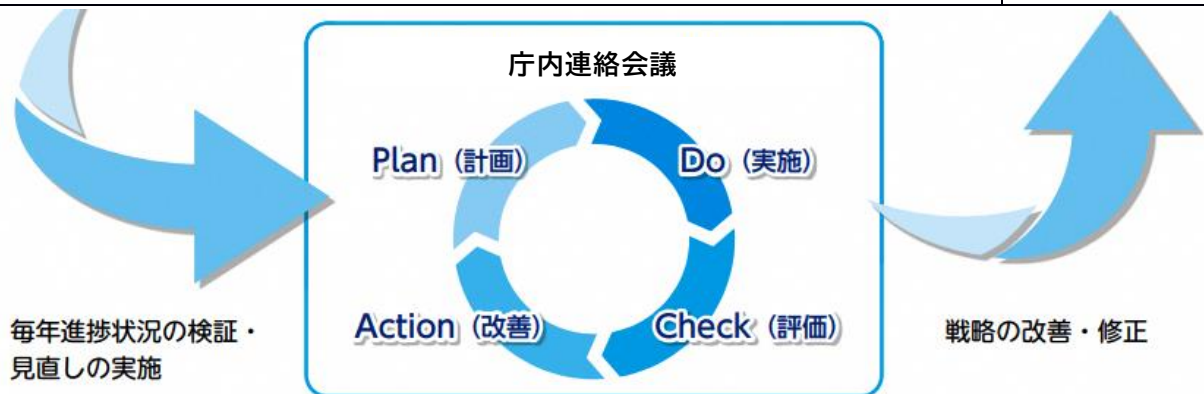
吉川八坂祭り	
ねらい・効果	市内外から多くの観光客を集客し、地域の活性化につなげる。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎年7月中旬に吉川の平沼地区、栄町地区で八坂祭りが行われ、平成3年からは、いちよう通りで、神輿が一堂に会する「神輿競演」を行っている。 
問合せ	吉川八坂祭り実行委員会（商工課） ☎982・9697

3. 取組の推進

シティプロモーションの推進は、第6次吉川市総合振興計画や第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられており、あらゆる取組を行う上で重要な視点であることから、市民との共通理解の促進に努めながら、市民や団体、地域、企業といった多様な主体との協働や連携による効果的な取組の実施に努めるとともに、行政としても全庁的な取り組みとして進めていく必要があります。

このため、数値目標として掲げてある令和8年度に向けた「全体指標」、「基本指標」及び取組ごとの「重要業績評価指標(KPI)」を管理していく上でPDCAサイクルを用いて、シティプロモーションに関係の深い部署で構成する「庁内連絡会議」において共通認識を図り連携しながら、市民の意見を踏まえ、各取組の進捗状況や効果を把握・検証し、必要な見直しと改善を行います。

吉川市シティプロモーション基本方針	
〈目標〉市民の幸福実感の向上 ～ 市民と共に、「住み続けたいまち」、「住んでみたいまち」、「訪れたいまち」、「応援したいまち」を目指して ～	3つの全体指標
吉川市シティプロモーション戦略プラン	
重点テーマ 愛着心の向上	1つの基本指標 10のKPI
重点テーマ 認知度の向上	1つの基本指標 5のKPI



全体指標・基本指標・重要業績評価指標(KPI)について

全体指標

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)
幸福と感じる割合（市民意識調査）	89.4 % (令和4年度)	88.0 % (令和8年度)
住みよいと感じる割合（市民意識調査）	83.2 % (令和4年度)	87.0 % (令和8年度)
吉川市に住み続けたいと回答した割合（市民意識調査）	74.4 % (令和4年度)	80.0 % (令和8年度)

基本指標

[重点テーマ 愛着心の向上]

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)
市への愛着度（市民意識調査）	75.2 % (令和4年度)	80.0 % (令和8年度)

[重点テーマ 認知度の向上]

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)
市の認知度（市民意識調査）	6.3 % (令和4年度)	10.0 % (令和8年度)

重要業績評価指標(KPI)

[重点テーマ 愛着心の向上]

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)
ホームページアクセス数	7,024,378 回 (令和4年度)	12,150,000 回 (令和8年度)
吉川大吉ブランド認定品数	29 品 (令和4年度)	35 品 (令和8年度)
文化芸術の取組に対する市民満足度 (市民意識調査)	58.7 % (令和4年度)	60.0 % (令和8年度)

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)
要援護者見守りネットワーク協定事業所数	140 事業所 (令和4年度)	135 事業所 (令和8年度)
あいサポーター育成人数 (累計)	527 人 (令和4年度)	3,000 人 (令和8年度)
青少年親善訪問団派遣事業参加者数	未実施 (令和4年度)	20 人 (令和8年度)
国内交流事業の交流人数	未実施 (令和4年度)	130 人 (令和8年度)
自主防災組織率	89.5 % (令和4年度)	94.0 % (令和8年度)
よしかわ観光協会 Instagram フォロワー数	1,435 件 (令和4年度)	1,500 件 (令和8年度)
ウォーキングリーダー養成者数 (累計)	129 人 (令和4年度)	200 人 (令和4～8年度)

[重点テーマ 認知度の向上]

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (年度)
ホームページアクセス数	7,024,378 回 (令和4年度)	12,150,000 回 (令和8年度)
よしかわ観光協会 Instagram フォロワー数	1,435 件 (令和4年度)	1,500 件 (令和8年度)
フィルムコミッション事業実施回数	9 回 (令和4年度)	20 回 (令和8年度)
ふるさと納税件数	1,698 件 (令和4年度)	2,000 件 (令和8年度)
企業版ふるさと納税件数 (累計)	0 件 (令和4年度)	7 件 (令和4～8年度)

用語解説

あ行

あいサポート運動

様々な障がいの特性を理解し、障がいのある方に温かく接するとともに、ちょっとした手助けを行うことにより、誰もが暮らしやすい地域社会をつくっていかうとする運動のこと。平成21年に鳥取県で始まった運動で、研修を開催し、運動を実践する「あいサポーター」の増加をめざす。

ウォーキングリーダー

率先してウォーキングに取り組み、ウォーキングを通じて地域の健康づくりを広める方のこと。ウォーキングに関する基礎知識の習得や指導方法の講習を受け、市が認定している。

か行

学校運営協議会制度

学校と地域が一体となった学校づくりを進めるために設置する学校運営及び運営への必要な支援などを協議する機関。地域の方や保護者、学校の運営に資する活動を行う方等から教育委員会が委員を任命し、地域の方々が教育の当事者として学校運営に参画することや学校と地域の連携・協働体制を組織的・継続的に確立することによって「地域とともにある学校づくり」を進めていくことをめざす。

企業版ふるさと納税制度

平成28年度に創設され、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組み。損金算入による軽減効果と合わせて、税制改正により拡充された税額控除により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されるもの。

さ行

商業団体

小規模事業者等が集団形態をとり、共同事業等の事業活動を行う団体のこと。

生活支援コーディネーター

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的に、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けた調整等の役割を果たす方のこと。

性自認や性的指向

性自認(Gender Identity)は、自らの性をどのように認識するかを示し、性的指向(Sexual Orientation)はどのような性に恋愛感情などの関心が向くかを示すこと。この2つの言葉の頭文字をつなげた「SOGI」という表現があり、「LGBTQ」などの性的少数者などの特定の性自認や性的指向の方を対象とする表現ではない。

た行

第2期吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

今後の人口増加を確実なものとしていくことを軸としながら、人口のピークの先延ばしとその後の減少の緩和を図るとともに、人口減少や高齢化に対応することにより、将来にわたって魅力と活力のある吉川市とするための戦略を立てるもの。計画期間は、令和4年度から令和8年度。

第6次吉川市総合振興計画

吉川市の目指すべき将来都市像やまちづくりの目標の実現のため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するもの。基本構想、基本計画、実施計画の3層構造で構成され、吉川市における様々な行政計画の最上位となる計画。計画期間は、基本構想が令和4年度から令和13年度、前期基本計画が令和4年度から令和8年度。

地域サロン事業

人との会話や外出する機会の少ない高齢者、障がいのある方、子育て中の方などが、ボランティアで参加する地域住民と一緒に活動内容を話し合い、交流する場のこと。地域を拠点に、市民が主体となって企画、運営される。

地産地消

地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内において消費する取組のこと。

土地区画整理事業

家屋が密集した市街地や無秩序に市街化しつつある地域、または新たに市街化しようとする地域について、一体的に道路や公園、下水道などの公共施設の整備改善を行うと同時に土地の区画形質を整え、利用増進を図る事業のこと。

トレードオフ

何かを達成するためには、何かを犠牲にしなければならない関係のこと。

は行

パブリシティ

市政情報等を、マスメディアを通じて市内外へ発信すること。

ふるさと納税制度

故郷や応援したい自治体などに行う寄附のこと。寄附を受けた多くの自治体では、寄附のお礼の品として、寄附者に対し寄附金額の3割以下の名産品などを届けることで、地域産業を全国に知ってもらう機会として活用している。また、寄附者は、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される。

フィルムコミッション

地域活性化を目的として、映像作品のロケーション撮影が円滑に行われるための支援を行うこと。

フレイル

加齢に伴い心身の活力(運動機能や認知機能等)が低下し、健康障がいなどを招くおそれの高い状態、心身の脆弱性が出現した状態のこと。

ま行

まちづくり出前講座

市民講師、市民団体、公共機関や行政職員等が、利用希望者と日程や場所を調整し、開催する講座のこと。講師料は無料で、市教育委員会生涯学習課に申し込む。

数字・アルファベット

PDCAサイクル

Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り組むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年に国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称のこと。地球上の「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むものとして、包括的な17のゴール(目標)と169のターゲット、232のインディケーター(指標)が設定されている。

吉川市シティプロモーション戦略プラン

令和3年3月策定、令和5年12月改定

発行 埼玉県吉川市 政策室

〒342-8501

吉川市きよみ野一丁目1番地

048-982-5112(直通)

<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/>
